



魅力あるふるさとと弥彦山となるよう

下山道では、先ほどの木の枝や倒木がどかされ、通常の登山道となっていた。驚きであった。私の後に登られたTさんグループであろう。小枝も取り払い、以前の登山道になっていた。その心温まる行為に感謝だ。登山道の階段整備も数人の百人だ。上からの押しつ

幅広い登山道に五十、六十の階段は自然破壊と言えるのか。一握運動の参加者は、神社側を勘違いしているのではないかと異口同音の新聞発言に憤慨している。ボランティアの皆さんもあきれ

弥彦山となるよう願っています。(弥彦山登山の高齢者)

台風一過、秋晴れの弥彦山早朝登山。一面の枯葉、杉葉の登山道、数か

所杉の木や木の枝が道をふさぐ。かき分けながら頂上へ。奥社で手を合わせ、一息入れ下山する。

ボランティアの皆さんが行い、登山者の安全安心を守り、加えて暴風時に土砂の流失を防いでいる。

先日、「これ以上の整備は必要ない」、また「なるべく自然のままが望ましい」としているが、一方では安全安心のための奉仕作業、資材も経費を

役場当局は静観しているが、前述の通り登山道

神社側の理解と協力、弥彦村当局はじめ、関係機関や民間の熱意と協力により魅力あるふるさと

所まで自発的に運んでも

ずかな砂利だが所定の場所まで自発的に運んでも

奉仕作業、資材も経費を

役場当局は静観しているが、前述の通り登山道

神社側の理解と協力、弥彦村当局はじめ、関係機関や民間の熱意と協力により魅力あるふるさと

弥彦山となるよう願っています。(弥彦山登山の高齢者)

温まる行為に感謝だ。登山道の階段整備も数人の百人だ。上からの押しつ

奉仕作業、資材も経費を

役場当局は静観しているが、前述の通り登山道

神社側の理解と協力、弥彦村当局はじめ、関係機関や民間の熱意と協力により魅力あるふるさと

弥彦山となるよう願っています。(弥彦山登山の高齢者)

弥彦山となるよう願っています。(弥彦山登山の高齢者)